

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期美浜町総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井県三方郡美浜町

3 地域再生計画の区域

福井県三方郡美浜町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口推移をみると、平成2（1990）年の13,222人をピークに減少に転じ、令和2（2020）年では9,179人となっています。年齢3区分別にみると、年少人口は平成2（1990）年以降一貫して減少しており、生産年齢人口も同様に減少している一方、老年人口は増加傾向にあり、今後もしばらく高水準で推移すると見込まれます。

ここ10年間の転入数・転出数は、年によって増減を繰り返しています。平成27（2017）年、令和2（2020）年にはプラスに転じていますが、平成31（2019）年には大幅な社会減となりました。令和3（2021）年以降は、マイナス幅が縮小する傾向にあります。

出生・死亡数をみると、年によって増減を繰り返し、死亡数は増加傾向にあります。年ごとに変動はあるものの、自然動態のマイナス幅が拡大しています。

将来人口の推計では、最新の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推移をみると、本町の人口ビジョンの目標値設定年度である令和22（2040）年には6,907人と推計されています。年少人口・生産年齢人口はともに減少する見込みである一方で、老年人口は一時的に増加した後、令和12（2030）年以降は減少に転じる見込みとなっています。

本町の年齢別人口構成の割合の推移をみると、生産年齢人口の低下により、地域経済や行政サービスを支える中核世代の縮小が進行しており、年少人口も実数とし

ては減少傾向にあります。これは、生産年齢人口の先細り等、人口構成の偏りが今後さらに拡大する可能性を示しています。

こうした変化は、福祉・医療需要の増大や担い手不足、税収基盤の弱体化につながるため、人口構造の変化を前提としたまちづくりが求められます。

これらの課題に対応するため、施策全体の約2割に当たる「優先施策」に資源を集中させることで、人口減少に負けないまちづくりを進めることを基本戦略としています。本町では、SWOT分析で導き出された「原子力・エネルギーとの共生」と「人づくり」の強みを活かし、DXやGXを取り入れて「若年層の流出」や「担い手不足」という弱みを克服するための優先施策を策定しました。この施策は、社会的ニーズ、緊急性、効果の高さを基に選ばれた中長期的な21施策で、「人づくり」「場づくり」「しあわせの基盤づくり」の3つの柱と、まちの将来像実現に必要な4つのキーワードのもと整理されています。

なお、優先施策はこれまでの本町における地方創生の取組を踏まえて、新たな「美浜創生総合戦略」に位置付けるものであり、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「地方創生2.0」を勘案して整理しています。

- 基本目標1 学びで「未来」をひらくまち
- 基本目標2 健やかで「つながり」暮らせるまち
- 基本目標3 新たな価値を創造し、「賑わい」を育むまち
- 基本目標4 自然と「調和」する心やすらぐまち
- 基本目標5 共に「創る」安全安心なまち
- 基本目標6 ひとが繋がり未来に「挑む」まち

【数値目標】

5-2の① に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和17年度)	達成に寄与する 地方版総合 戦略の基本目 標
ア	なびあす及び地区公民館における講座受講者数(年間)	2,331人 (R6年度末)	2,460人	基本目標1
ア	なびあす自主文化事業来場者数(年間)	3,455人 (R6年度末)	4,000人	基本目標1
ア	図書館利用者数(年間)	51,987人 (R6年度末)	55,000人	基本目標1
ア	スポーツ教室参加者数(年間)	322人 (R6年度末)	450人	基本目標1
ア	課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校:78.4% 中学校:87.7% (R7年度調査)	小学校:92% 中学校:95% (維持)	基本目標1
ア	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校:76.7% 中学校:85.9% (R7年度調査)	小学校:83% 中学校:90%	基本目標1
ア	歴史文化関係講座受講者数	16講座 /389人 (R6年度末)	20講座 /600人	基本目標1
ア	美浜町内文化財指定件数(国、県、町)	43件 (R7年12月末)	55件	基本目標1
イ	地域の問題に対して、住民の助け合いが必要だと思ふ割合 (美浜町地域福祉計画)	74.5% (R5年3月)	90.0%以上	基本目標2
イ	地域貢献団体登録団体数 (地域あいあいポイント事業)	14団体 (R7年度)	22団体	基本目標2

イ	「孤独」を感じている方の割合 (美浜町地域福祉計画)	20.2% (R5年3月)	10.0%以下	基本目標2
イ	美浜町は子育てしやすいまちだ と思う割合(子育て支援に関する アンケート、美浜町こども計画)	未就学児童保護 者82.9% 小学生児童保護 者84.6% (R6年3月調査)	未就学児童 保護者93.0% 小学生児童 保護者95.0%	基本目標2
イ	健康づくり自主活動グループ数	22団体 (R7年度)	28団体	基本目標2
イ	障がいをお持ちの方が住みにく いまちだと思う割合 (美浜町障がい者基本計画)	10.2% (R6年3月)	0%	基本目標2
イ	1日の食塩摂取が適正である人の 割合(健康みはま21)	男性:27.4% 女性:15.9% (R6年3月)	男性:60% 女性:60%	基本目標2
イ	メタボ該当者・予備軍の割合 (健康みはま21)	35.2% (R6年3月)	15%	基本目標2
イ	高度急性期の区域内完結率 (福井県医療計画)	69.6% (R6年3月)	80.0%	基本目標2
イ	1人当たりの年間医療費(国民健 康保険)(県速報値)	510,208円 (R6年度)	510,000円	基本目標2
イ	1人当たりの年間医療費(後期高 齢者)(福井県後期高齢者医療広 域連合速報値)	886,916円 (R6年度)	886,000円	基本目標2
イ	認定農業者数 (最適化活動の目標の設定)	32人 (R7年4月)	39人	基本目標3
ウ	新規就農者数(累計) (美浜町農業基本計画)	9人 (R7年度末)	15人	基本目標3
ウ	森林境界の確認完了地区数	1件	5件	基本目標3

	(森林整備地域活動支援交付金 事業実績)	(R7年度)		
ウ	林道橋の補修数(累計)	—	6橋	基本目標3
ウ	新規漁業就労者数 (漁業協同組合等 聞取り)	3人 (R7年11月)	20人	基本目標3
ウ	漁港の改修数(累計)	—	1箇所	基本目標3
ウ	水産加工品の商標権登録数	5件 (R7年度末)	7件	基本目標3
ウ	新規創業件数 (町創業支援事業実績)	5件 (R8年1月)	3件	基本目標3
ウ	小規模事業者数 (わかさ東商工会 聞取り)	434事業者 (R7年末)	444事業者	基本目標3
ウ	観光入込客数	139.6万人 (R7年1～12月)	151.1万人	基本目標3
ウ	延べ宿泊者数	5万5千人 (R7年1～12月)	6万1千人	基本目標3
ウ	観光消費額 (観光入込客数×一人あたりの 旅行消費額)	122.1億円 (R7年1～12月)	178億円	基本目標3
ウ	誘致企業による新規雇用者数(う ち町内)	1人 (R7年10月末)	12人	基本目標3
ウ	キッチンカー新規導入数(累計) (町キッチンカー等購入支援事 業実績)	4台 (R8年1月)	14台	基本目標3
ウ	にぎわいゾーンにおけるイベン ト回数	4回/年 (R7年度)	15回/年	基本目標3
ウ	エネルギー環境教育体験館利用 者数	8,610人 (R7年3月末)	14,000人	基本目標3
エ	美浜町の温室効果ガス排出量	55.0千-t-CO2	34.0千-t-CO	基本目標4

		(R3年度)	2	
エ	1日一人当たりのごみの排出量	942 g (R5年度)	904g	基本目標4
エ	ごみリサイクル率	14.4% (R5年度)	19.0%	基本目標4
エ	チョイソコみはまの利用者数	18,000人 (R7年度見込)	22,000人	基本目標4
エ	「道路・交通体系の確立」に係る 施策満足度 (総合振興計画策定アンケート)	30.8% (R6年度)	50.0%	基本目標4
エ	JR 美浜駅 1日あたりの乗降者 数(平均)	180人 (R6年度)	300人	基本目標4
エ	分譲地入居世帯数(累計)	68世帯 (R8年1月)	128世帯	基本目標4
オ	自主防災組織数	24組織 (R7年3月末)	38組織	基本目標5
オ	防災アプリの登録者数	2,323人 (R7年10月末)	3,500人	基本目標5
オ	有収率 (水道管理所運転年報)	68.23% (R6年度末)	80.00%	基本目標5
オ	管路耐震化率 (管路耐震化率調書)	57.1% (R6年度末)	63.0%	基本目標5
オ	処理場耐震性能確保済数 (美浜町上下水道耐震化計画)	5施設/8施設 (R5年度末)	8施設/8施設	基本目標5
オ	緊急輸送道路等の無電柱化の道 路延長	80m (R7年度)	260m	基本目標5
オ	交通安全教室・講習会の開催数	20回 (R6年度)	24回	基本目標5
オ	原子力環境安全監視委員会の開	227回	267回	基本目標5

	催数（昭和47年からの累計）	(R7年度末)		
オ	原子力防災訓練参加回数 （平成28年からの累計）	9回 (R7年10月末)	15回	基本目標5
カ	町民人権講座参加者数 （1講座あたり平均）	97人 (R6年度末)	130人	基本目標6
カ	集落研修実施数	32集落 (R6年度末)	34集落	基本目標6
カ	人権啓発キャンペーン巡回事業 所等数	41か所 (R7年12月)	45か所	基本目標6
カ	審議会等の女性登用率	25.7% (R7年4月)	35%	基本目標6
カ	行政手続きに係るオンライン利 用数（単年度） （地方公共団体の行政手続きに 係るオンライン利用状況の調査）	3,514回 (R6年度)	7,000回	基本目標6
カ	地域愛表彰 受賞団体数（累計）	12団体 (R7年度)	19団体	基本目標6
カ	応援人口登録者数（累計）	413人 (R7年12月末)	1,000人	基本目標6
カ	将来負担比率 （地方公共団体の財政の健全化 に関する法律）	35.5% (R6年度決算)	350%未満	基本目標6
カ	町税のキャッシュレス納付率 （決算審査資料）	3.0% (R7年5月末)	20.0%	基本目標6

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

美浜町総合振興計画推進事業

ア 学びで「未来」をひらくまち

イ 健やかで「つながり」暮らせるまち事業

ウ 新たな価値を創造し、「賑わい」を育むまち事業

エ 自然と「調和」する心やすらぐまち事業

オ 共に「創る」安全安心なまち事業

カ ひとが繋がり未来に「挑む」まち事業

② 事業の内容

ア 学びで「未来」をひらくまち事業

まちづくりの根幹となる多様な人材の育成を進め、豊かな人間性や社会性郷土への誇りと愛着心を育むとともに、地域に息づく伝統文化や歴史、先人から受け継いだ知恵を次世代へ確実につないでいく事業。

学校・家庭・地域が連携した学びを通じて、一人ひとりの可能性を伸ばし、地域で学び、挑戦し、活躍できる環境を整えることで、変化の時代をしなやかに生き抜き、未来を自ら切り拓く「美浜を支える人づくり」を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・豊かな人生を育む学びの推進
- ・主体性を育む学校教育の推進
- ・歴史・文化を未来へ繋ぐ学びの推進 等

イ 健やかで「つながり」暮らせるまち事業

超高齢社会を見据え、健康寿命の延伸と地域包括ケアシステムの深化

を図る。また、町民総ぐるみの健康づくり・介護予防を推進し、元気な高齢者が地域の担い手として活躍できる仕組みを構築する。

あわせて、切れ目のない子育て支援を充実させ、子育て世代が安心して暮らし続けられる環境を整えることで、転入促進と転出抑制につなげる。

【具体的な事業】

- ・ 地域福祉の推進
- ・ 子ども・子育て支援の充実
- ・ 高齢者福祉・障がい者福祉の充実
- ・ 健康づくりの啓発と推進
- ・ 地域医療対策の推進
- ・ 医療保険事業の適正な運営 等

ウ 新たな価値を創造し、「賑わい」を育むまち事業

新幹線時代の到来やデジタル化の進展による社会・産業構造の変化を捉え、本町ならではの資源を活かした観光振興と産業活性化を進め、まち全体の活気とにぎわいを創出する。

特に、雇用に対する満足度向上を重要課題と捉え、多様な働き方の推進や若者・女性の起業・就業支援、人材育成を通じて、地域に根ざした新たな仕事の創出に取り組む。

【具体的な事業】

- ・ 農業の振興
- ・ 林業の振興
- ・ 水産業の振興
- ・ 商工業の振興
- ・ 観光の振興
- ・ 産業振興によるにぎわい創出
- ・ エネルギー施策と地域振興 等

エ 自然と「調和」する心やすらぐまち事業

本町の象徴である豊かな自然環境を守り、活かしながら次世代へ継承する。

GX や SDGs の視点を踏まえ、ゼロカーボンや循環型社会の実現に向けた取組を進めるとともに、計画的な土地利用、公共交通の機能強化を図る。さらに、住環境の向上、空き家対策、適正な廃棄物処理を進め、持続可能で快適な暮らしを支える地域環境を築く。

【具体的な事業】

- ・自然環境の保全と GX の推進
- ・快適な都市整備と交通体系の充実 等

オ 共に「創る」安全安心なまち事業

自然災害への備えと地域防災力の向上に加え、主要道路や上下水道基盤の整備、冬季交通の確保、交通安全、防犯、消費者保護の取組を着実に進め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。

国・県・事業者との連携を強化し、原子力立地地域としての特性を踏まえた安全確保体制の充実を図るとともに、原子力やエネルギーに関する分かりやすい情報提供と理解促進を通じて、住民の安全と安心を支える基盤を強化する。

【具体的な事業】

- ・減災・防災対策の推進
- ・水道・下水道の整備
- ・町土保全対策の推進
- ・交通安全・防犯・消費者保護対策の推進
- ・原子力安全確保対策の推進 等

カ ひとが繋がり未来に「挑む」まち事業

住民と行政が情報と価値観を共有し、役割分担を明確にした「共働」によるまちづくりを一層推進する。

人権尊重や男女共同参画、国際交流を通じて多様性を認め合う社会を形成するとともに、町外に住みながらも本町を応援する「応援人口（関

係人口)」の拡充を図る。

大学や民間事業者との連携による地域課題解決を進め、持続可能で健全な行財政運営を実現する。

【具体的な事業】

- ・多様性を尊重する人権教育・啓発の推進
- ・デジタル化の推進
- ・地域愛に満ちたコミュニティの強化
- ・「応援人口」と共に創るまちづくり
- ・健全な行財政運営の推進 等

※ なお、詳細は第六次美浜町総合振興計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000 千円（令和8年度～令和17年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和18年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和18年3月31日まで